

^{ゎたなべ} 渡辺 ミヨ子さん(99歳)

詫間町で9人きょうだいの5 番目に生まれたミヨ子さんは、負 けず嫌い。「じっとして、負けた ら損した気持ちになるから何事に も積極的に取り組む」と話します。



▲娘の芳子さんとミヨ子さん

多趣味に生きる を運びました。「80歳手前でオーを運びました。「80歳手前でオーストラリアのエアーズロックにも なミヨ子さん。旅行は国内外へ足 ないました。「80歳手前でオー てくれました。 で写真をしよ で写真をしよ でおれました。 で写真をしま でおれました。

▲着物姿でお花など を教えます

何事にも積極的に

つこり

のづくりを極めてきた

家族といつまでも仲良く

現在も尺八を練習してい四民謡まつり」では優また、県民謡連合会

り民謡

で連

では優秀賞を

第 受 賞 17

を

ます

▲教員時代のミヨ子さん(中央)

配るんや」とにった、貝細工、はあさりとハーを手作りし、「出掛けると「出掛けると」を表示では、最近、 ーのっずはま子で をキーレ をキー

形は変われど

『教える』

人生

▲ミヨ子さんが作った貝細工

と一緒に 京の国立良 を」と ます。 と 話 しんを ます。



▲尺八で仁尾町歌を演奏

正一さんは戦前から長い間、造船 業に携わり、戦時中は広島で特攻隊 を表するが、 を満ってこん。そんな船を造るのは を開ってこん。そんな船を造るのは を開った」と当時を語ります。終戦前、 を利へ帰郷したことで原爆投下は免 を栽培。ハウス7つ分の畑を夫婦二 人三脚で守ってきました。 趣味は尺八を吹くこと

てきました。現在は、娘・芳子さんの家族と同居。平日はデイサーんの家族と同居。平日はデイサーを対したの家族と同居。平日はデイサールの家族と同居。平日はデイサールの家族と同居。平日はデイサールの家族と同居。

く演奏しました。一番の思い出は「とは、お祭りやデイサービスでもらは、お祭りやデイサービスでも 『家浦二頭獅子

不よか

上の歌を演奏 とても家族思いの正一さん。長年を授かります。現在は、娘家族と孫 毎日を過ごしています。「ひ孫たち らそれでええ。十分や」と優しい笑 らそれでええ。十分や」と優しい笑 らそれでええ。十分や」と優しい笑 が元気で、みんなと楽しく過ごせた らそれでええ。十分や」と優しい笑 が元気で、みんなと楽しく過ごせた らそれでええ。十分や」と優しい笑 けん、そばで けん、そばで はん、そばで はん、そばで かってあげた した。

▲大切な家族たち

^{こまえ まさいち} 小前 正一さん(99歳)

仁尾町出身。長生きの秘訣は 『心配しないこと』。「暇があった ら好きなことをしたらええ。こ れからも大切な家族と明るく過 ごしたい」と話します。



▲結婚当時の思い出の写直

今年で、数え100歳を迎えるご長寿の皆さんに、 元気の秘訣などをインタビューしました。

▶問い合わせ 秘書課 ☎73-3001 福祉課 ☎73-3015

行きた 全て制覇した 、母校の河内小学校で退職しました。かった」と話してくれました。そかった」と話してくれました。そ いところは、

退職後の楽しみ や孫たちがおじ れて行ってくれ れて行ってくれ ます。一番好き なところは、『富 なところは、『富 みは、



行。 ▲正美さんが描いた富士山

現在は、息子家族と孫夫婦、ひ孫たちと暮らしています。いつも、子どもたちは正美さんの部屋に集まり、家族団らんの時間を過ごします。「孫やひ孫のためにお菓子を自転車で買いに行くんや。ほんで、届けてあげるんや」とにこやかに話す正美さん。これからもはこやかに話す正美さん。これからもした。 孫や 孫が生きが



▲ 94 歳で訪れた黒部ダムを庭に再現

生まれも育ちも山本町。モットー は『良く食べ、良く動き、良く寝る こと。そして、無理をしないこと』。「こ れからも草刈りを毎日したい。草刈 り機が杖代わりやけん」と話します。

ふじた まさみ 藤田 正美さん(99歳)



▲白寿のお祝いに親戚大集合!



いや望の ま家し約

61

数え100歳以上の装 問し、敬老の意を込め でしました。 市内の数え100歳 た17人を訪問。最近の た7人を訪問。最近の た7人を訪問。最近の と の 問 を 趣味 発

の意を込めてお祝いるの意を込めてお祝いるの意を込めてお祝いる。 を更新 い訪の